総合的な学習の時間

第5学年

育成をめざす資質・能力 【知識】【課題発見・解決力】【自己理解】

単元名:板城西の良さを発見しよう ~ 地域の人に伝えよう ~

【単元の概要】

第3学年の板城西探検で見つけた様々な史跡について確認すると、どこにあるものかはわかっているが、その史跡のもつ意味を理解していないことに気付いた子どもたち。もう一度詳しく調べたいという思いをもち、この単元を設定した。最終ゴールを、地域の人や保護者の人と板城西を歩く「ふれあいウォーク」での発表とし、たくさんの人によりわかりやすく、魅力的に地域の良さを発表するにはどうすればよいかという課題で、計画を立てていく。史跡についてどう調べればよいか、また調べたものを、どう発表すればよいか、そのための資料作りをどうするか、一人一人で、またはグループや全体で考え、計画を立て課題を解決していく。

■単元の目標

地域の文化財のすばらしさや、それを守る人々の工夫や努力を調べ、「ふれあいウォーク」での発表というめあてをもち、そのめあてを達成するための方法や手順を考え、見通しをもって追求していく。また、課題解決に向けて、他者と協働し、異なる意見の考えを尊重しながら、探求活動に取り組んでいくようにする。

■単元計画(全30時間)

【課題の設定(3時間)】

• 第3学年の「板城西探検隊」の学習を想起し、板城西の歴史や文化を詳しく学んでいく計画を立てる。

【情報の収集、整理・分析(14時間)】

- ・資料を使ったり、地域の方からお話をうかがったりして、板城西の史跡・文化について調べる。
- ・お話をうかがったことや調べたことを確かめるために、実際に史跡巡りをし、資料を集める。
- ・調べ学習を通してわかったことをまとめ、聞き手にわかりやすい発表内容にするためにどうすればよいか考える。

【まとめ、実行、表現(10時間)】

- ・発表のための資料を制作し、お互いに聞き合うことで、よりよい発表をめざし内容を改善していく。
- 「ふれあいウォーク」で地域の方や保護者、他学年の児童に向けて発表する。

【振り返り(3時間)】

- ・発表の振り返りをし、自分が学んだことをまとめる。
- ・来年の5年生に向けて、資料を整理する。

■実践と振り返り

- 〇単元の最初に、自分たちが調べたことを地域の人に発表しようというゴールを設定したことで、学習する目的を明らかにすることができ、意欲が向上した。人に伝えるためには何が必要か、具体的に計画を立てて、学習を進めることができた。
- 〇まず、資料の読み取りから始めたが、実際に見ないとわからないことも多く、児童にとって一番身近でありながら疑問点の多い「七つ池」に出向くことから始めた。「七つ池」を目の当たりにすることで、何について知りたいか具体的な思いがたくさん出てきた。学習する中で、何度も新しい課題を見出すことができ、そのたびに、自分たちで計画を立て直すことができ、深い学びを実現することができた。
- ○国語科「資料を生かして考えたことを書こう」と関連させることで、よりよい発表をめざした活動ができた。また、グループでの発表をクラスの中で行ってみることで、より良いものをめざして、意見を言い合ったり、その意見を参考にして修正をしたりすることもできた。グループでの活動が中心となったため、個の力が」どれだけついたか疑問な点もある。個々での言語活動の充実を図る必要があると思われる。



【ふれあいウォークでの発表】



【発表資料】



【推敲して作った発表原稿】